## 【事務局より】

疫学の公表文献19報がリスク管理機関から提出されました(文献1195及び1200は文献が入手できなかったと報告されています。)。

文献で検討された健康関連の事象(疾病等)の列を追加し、事象ごとに並べ替え、研究結果の分類及び分類の判断理由の案を記載しました。

各文献の研究結果の分類(「評価に使用する可能性のある文献」/「評価に使用しない文献」)及び判断理由について御検討ください(「評価に使用する可能性のある文献」に分類した文献については、評価書案に記載しています。)。

## 【祖父江専門委員より】

文献1184については、文献1190とさほど変わりはないので、評価に使用する可能性のある文献に変更した方がよいと思います。

## 【井上専門委員より】

文献1184のサンプル数が少ないことが理由になっていますが、症例対照いずれも1000、4000とサンプル数は少ないとはいえず、また、該当剤の症例対照それぞれのばく露数が解析に堪えないほどの数ともいえません。 両研究とも大規模な症例対照デザインで、異なるのはばく露の評価法のみで、該当剤をダイレクトに測定しているわけではないのは同じです。

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著 /総説	海外評価書 での引用の 有無	ドシエ での引 用の有 無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1190	,	American Journal of Industrial Medicine, 43(3), 306-313.	2003	Clary, T., & Ritz, B.	United States Agency for International Development	https://doi.org/10.1002/aji m.10188	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・米国の農業地域における農薬使用量データと <mark>膵</mark> がんによる死亡率の相関関係を検討	評価に使用する可能性のある文献	(備考欄の補足) ・1,3-ジクロロプロペンの個人ばく露を地域ごとの農薬種別使用量記録から推定。 ・膵がん死亡例と他がん死亡例とでばく露を比較した症例対照研究。	1.膵がん
1184	Prostate cancer risk and exposure to pesticides in British Columbia farmers.	· ·		Band, P. R., Abanto, Z., Bert, J., Lang, B., Fang, R., Gallagher, R. P., & Le, N. D.	Cancer Control Research, BC Cancer Agency, Vancouver, British Columbia, Canada	DOI:10.1002/pros.2 1232	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・慣用使用している農薬の総合的な暴露の 影響に対する文献であり、1、3-Dのばく露 影響としては適切ではない	II .	・十分なサンプルサイズでない。 (備考欄の補足) ・1,3-ジクロロプロペンの個人ばく露を自己申告による職歴とJob Exposure Matrixから推定。 ・前立腺がん罹患例と他がん罹患例とでばく露を比較した症例対照研究。 祖父江専門委員修正	2.前立腺が ん
1201	Biological monitoring of dichloropropene: air concentrations, urinary metabolite, and renal enzyme excretion.	Archives of Environmental Health, 44(4), 207-213	1989	Osterloh, J. D., Wang, R., Schneider, F., & Maddy, K.	University of California	doi: 10.1080/00039896.1 989.9935885.	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・調査対象数が少なく (n=15) 、比較対 照群が設定されていない ・1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の 3CNACが検出されたとする報告で、健康関 連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	・十分なサンプルサイズでない。 ・比較対象の群の設定がない。 ・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。	3.腎機能
1202	pesticide applicators during a	Environmental Research, 63(2), 171-181.	1993	Osterloh, J. D., & Feldman, B. J.	University of California	DOI:10.1006/enrs.1 993.1138	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・調査対象数が少なく(n=16)、比較対 照群が設定されていない 1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の 3CNACが検出されたとする報告で、健康関 連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	・十分なサンプルサイズでない。 ・比較対象の群の設定がない。 ・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。	3.腎機能
	occupational exposure to 1,3-dichloropropene: effects on	British Journal of Industrial Medicine, 48(3), 167-172.	1991	Brouwer, E. J., Evelo, C. T., Verplanke, A. J., van Welie, R. T., & de Wolff, F. A.	Toxicology Laboratory, University Hospital	DOI:10.1136/oem.4 8.3.167	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・1,3-D散布作業員の血液中の肝及び腎の 生化学的パラメーターとの関連性の検討 ・調査対象例が少なく(n=14)、比較対照 群が設定されていない ・健康関連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	<ul><li>・十分なサンプルサイズでない。</li><li>・比較対象の群の設定がない。</li><li>・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。</li></ul>	3.腎機能 4.肝機能

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著 /総説	海外評価書 での引用の 有無	ドシエ での引 用の有 無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1203	Occupational exposure to cis-1, 3-dichloropropene: biological effect monitoring of kidney and liver function.	and	2000	Verplanke, A. J. W., Bloemen, L. J., Brouwer, E. J., Van Sittert, N. J., Boogaard, P. J., Herber, R. F. M., & De Wolff, F. A.	University of Amsterdam	DOI:10.1136/oem.5 7.11.745	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・調査対象数が少ない(n=13)。比較対 照群(n=22)1,3-D散布作業者の尿中 及び血中からマーカーにβOHC/CORを除い て異常は認められなかったとする報告で、健 康関連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	<ul><li>・十分なサンプルサイズでない。</li><li>・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。</li></ul>	3.腎機能 4.肝機能
	Residential proximity to agricultural fumigant use and IQ, attention and hyperactivity in 7-year old children.	Environmental Research, 158, 358-365. Page 46 of 58	2017	A., Castorina, R., Holland, N. T., Avery, D., Harley, K. G., & Eskenazi, B.		DOI:10.1016/j.envre s.2017.06.036		EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106			評価に使用する可能性のある文献		5.神経発達 症
1196	Perinatal exposure to hazardous air pollutants and autism spectrum disorders at age 8.	Epidemiology (Cambridge, Mass.), 21(5), 631.	2010	Kalkbrenner, A. E., Daniels, J. L., Chen, J. C., Poole, C., Emch, M., & Morrissey, J.	University of North California	DOI:10.1097/EDE.0b 013e3181e65d76	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし		評価に使用する可能性 のある文献		5.神経発達 症
1197	Air toxics in relation to autism diagnosis, phenotype, and severity in a US family-based study.	Environmental Health Perspectives, 126(3), 037004.		Kalkbrenner, A. E., Windham, G. C., Zheng, C., McConnell, R., Lee, N. L., Schauer, J. J., & Volk, H. E.	University of Wisconsin- Milwaukee	DOI:10.1289/EHP18 67	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	しょう ワに囲し 子見が彫ればむはじや キャヤ・キ	評価に使用する可能性のある文献		5.神経発達 症
1187	Environmental exposure to pesticides and the risk of Parkinson's disease in the Netherlands.	Environmental International, 107, 100- 110.	2017	Brouwer, M., Huss, A., van der Mark, M., Nijssen, P.C., Mulleners, W.M., Sas A.M., van Laar, T., de Snoo, G.R., Kromhout, H., Vermeulen, R.C.		DOI:10.1016/j.envin t.2017.07.001	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・慣用使用している農薬の総合的な暴露量をシュミレーションモデルで推測して、パーキンソン病との相関関係を検討・1、3-Dのばく露影響としては適切ではない	評価に使用しない文献	・ばく露情報が十分でない。	6.パーキンソ ン病
1191	The association between 1, 3-dichloropropene and asthma emergency department visits in California, USA from 2005 to 2011: a bidirectional-symmetric case crossover study.	Journal of Asthma, 1-9.	2019		University of California	DOI:10.1080/02770 903.2019.1590596	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし		評価に使用する可能性のある文献	(備考欄の補足) ・大気中の1,3-ジクロロプロペン一日平均濃度と喘息による救急受診率(ある一日 vs 前後の2日)との関連をオッズ比により検討。	7.呼吸器
1193	Residential proximity to agricultural fumigant use and respiratory health in 7-year old children.	Environmental Research, 164, 93-99.	2018	Gunier, R. B., Raanan, R., Castorina, R., Holland, N. T., Harley, K. G., Balmes, J. R., Fouquette, L., Eskenazi, B., & Bradman, A.		https://doi.org/10.1 016/j.envres.2018.0 2.022	原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし		評価に使用する可能性のある文献		7.呼吸器
1186	Personal air sampling and biological monitoring of occupational exposure to the soil fumigant cis-1,3-dichloropropene.	Occupational Environmental Medicine, 57(11), 738- 744.	2000	1	Center, University of Amsterdam		原著	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・実圃場での気中濃度の測定値から、作業者のばく露量を推定 ・調査対象例が少なく (n=14)、比較対照 群が設定されていない ・健康関連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	・十分なサンプルサイズでない。 ・比較対象の群の設定がない。 ・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。	8.その他

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著 /総説	海外評価書 での引用の 有無	ドシエ での引 用の有 無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1188	Human prostate cancer risk factors.	Cancer, 101(S10), 2371-2490.	2004	Bostwick, D. G., Burke, H. B., Djakiew, D., Euling, S., Ho, S. M., Landolph, J., Morrison, H., Sonawane, B., Shifflett, T., Waters, D.J., & Timms B.	Bostwick Laboratory	DOI:10.1002/cncr.20 408	総説	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・人の前立腺がんの推定危険因子についての 総説		・総説であり、一次資料が確認できない。	8.その他
1189	Correlating agricultural use with ambient concentration of the fumigant chloropicrin during the period of 2011 – 2014.	California Department of Pesticide Regulation.	2015	Brown, C	-	Correlating Agricultural Use with Ambient Concentration of the Fumigant Chloropicrin During the Period of 2011- 2014 (ca.gov)		EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・クロルピクリンの気中濃度モニタリングに関する資料であり、当該有効成分及び代謝物には関連性はない	評価に使用しない文献	・1,3-ジクロロプロペンに係る文献ではない	8.その他
1194	Biological markers in environmental health research.	Environmental Health Perspectives, 7, 3-9.	1987	Henderson, R., Hobbie, J., Landrigan, P., Mattisoti, D., Perera, F., Pfttaer, E., & Wogan, G.	the Committee on Biological Markers within National Research Council		総説	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・米国科学アカデミー/全米研究会議の生殖・発生毒性小委員会による生物学的マーカーの開発及び使用の可能性に関するシンポジウム議事録	評価に使用しない文献	・1,3-ジクロロプロペンに係る文献ではない	8.その他
1195	Cochrane handbook for systematic reviews of interventions (Vol. 4).	John Wiley & Sons.	2011	Higgins, J. P., & Green, S. (Eds.).	-	-	書籍	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・書籍 ・入手できず	評価に使用しない文献	・1,3-ジクロロプロペンに係る文献ではない(シ ステマティックレビューに係るハンドブック)	8.その他
1198	Empirical relationship between use, area, and ambient air concentration of methyl bromide.	Journal of Environmental Quality, 34(2), 420-428.	2005	Li, L., Johnson, B., & Segawa, R.	California Environmental Protection Agency	https://doi.org/10.2 134/jeq2005.0420a		EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	・臭化メチルに関するばく露評価のため、1,3-Dに該当する内容なし ・当該有効成分及び代謝物には関連性はない		・1,3-ジクロロプロペンに係る文献ではない	8.その他
1199	Chemical carcinogenesis: A soil fumigant, 1, 3-dichloropropene, as possible cause of hematologic malignancies.	Archives of Internal Medicine, 144(7), 1409- 1411.	1984	1	University of Southern California	DOI:10.1001/archint e.144.7.1409	総説	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・総説 ・1,3-Dに高濃度にばく露された患者の症例報告	評価に使用しない文献	<ul><li>十分なサンプルサイズでない。</li></ul>	8.その他
1200	NRC. 2014. Review of EPA's Integrated Risk Information System (IRIS) Process.	Washington, DC: National Academies Press.	2014	-	-	Review of EPA's Integrated Risk Information System (IRIS) Process - NCBI Bookshelf (nih.gov)	書籍	EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106	なし	·書籍 ·入手できず	評価に使用しない文献	・1,3-ジクロロプロペンに係る文献ではない(システマティックレビューを評価に適用可能か等の文書)	8.その他
1204	Inhalation Exposure to 1,3- Dichloropropene in the Dutch Flower-Bulb Culture. Part II, Biological monitoring of A- and E-1,3-D by measurement of the urinary excretion of two mercapturic acid metabolites.	Archives of Environmental Contamination Toxicology, 1991;20:6–12.	1991	Van Welie RTH, Van Duyn P, Brouwer DH, et al.	Free University			EPA-HQ- OPP- 2013- 0154- 0106		・調査対象数が少なく(n=12男性)、比較対照群が設定されていない・1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の3CNACが検出されたとする報告で、健康関連の事象(疾病等)の調査がない	評価に使用しない文献	・十分なサンプルサイズでない。 ・比較対象の群の設定がない。 ・健康関連の事象(疾病等)が検討されていない。	8.その他

資料3-2

## 別添2-2 研究結果詳細

					<b>石</b>	肝究デザイン													
文献番号	著者名	国名	試験設計	調査時期	対象者·年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	暴露指標の 定義	暴露の 確認方法	試験全体のN数(症 例/対照)	アウトカムのN 数(症例)	分析カテゴリー	暴露に係るN数 (症例/対照)	相対リスク/オッズ 比	95%信頼区間	P値	交絡因子の考慮	備考(他の文献との関連等)	事象 (疾病等)
1190	Clary, T., & Ritz, B.	米国, かり フォルニア	症例対照 研究		15~85歳以上(死 亡時年齢)	膵臓癌	膵臓癌死亡率	農家を含む 商業害虫駆 除業者の農 薬散布量	-	10385 (950/9,435)	950		10385 (950/9,435) _(130/_) 祖父江専門委員 修正	リー), 1.89 (20	0.95-2.31 (全カテ ゴリー), 1.13-3.15 (20年以上居住)	-		・米国の農業地域における農薬使用量データと <mark>膵</mark> がんによる死亡率の相関関係を検討	1.膵がん
1184	Band, P. R., Abanto, Z., Bert, J., Lang, B., Fang, R., Gallagher, R. P., & Le, N. D.	ティッシュコロ			前立腺 <mark>及び</mark> その他の がん患者	前立腺がん	カルテ・アンケート	-	聞き取り	5152 (1,153/3,999)	6 1153 祖父江専門委 員修正	前立腺がん	25(6/19)	0.90(1,3-D)	0.34, 2.38	-	, ,	・慣用使用している農薬の総合的な暴露の 影響に対する文献であり、1,3-Dのばく露影 響としては適切ではない。	2.前立腺 がん
1201	Osterloh, J. D., Wang, R., Schneider, F., & Maddy, K.		バイオモニ タリング調 査		,		GC-MSによる尿中濃 度分析		作業者に装着した 空気サンブリング 装置	15	15			_	_	_		・調査対象数が少なく (n=15)、比較対照群が設定されていない い・1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の 3CNACが検出されたとする報告で健康関連 の事象(疾病等)の調査がない	3 竪機能
1202		米国, かり フォルニア	バイオモニ タリング調 査			ン), RBP((レチノー ル結合タンパク質), クレアチニン		_	_	16	16		_	_				・調査対象数が少なく (n=16)、比較対照群が設定されていない ・1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の 3CNACが検出されたとする報告で健康関連 の事象(疾病等)の調査がない	O EXTWAR
1185	Brouwer, E. J., Evelo, C. T., Verplanke, A. J., van Welie, R. T., & de Wolff, F. A.	オランダ		散布シーズン(7 月〜10月)	1,3-D散布作業員		血液中の肝及び腎の 生化学的パラメーター		土壌燻蒸に従事した時間数と日数	14	14	散布時期前後 の肝及び腎の 生化学的パラ メーター	14	-	-	-	-	・1,3-D散布作業者の肝及び腎の生化学的パラメーターとの関連性の検討・調査対象数が少なく(n=14)、比較対照群が設定されていない・健康関連の事象(疾病等)の調査がない・健康関連の事象(疾病等)の調査がない・健康関連の事象(疾病等)の調査がない	3.腎機能

					Ti.	研究デザイン													
文献番号	著者名	国名	試験設計	調査時期	対象者·年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	暴露指標の 定義	暴露の 確認方法	試験全体のN数(症 例/対照)	アウトカムのN 数(症例)	分析カテゴリー	暴露に係るN数 (症例/対照)	相対リスク/オッズ 比	95%信頼区間	P値	交絡因子の考慮	備考(他の文献との関連等)	事象 (疾病等)
1203	Verplanke, A. J. W., Bloemen, L. J., Brouwer, E. J., Van Sittert, N. J., Boogaard, P. J., Herber, R. F. M., & De Wolff, F. A.	オランダ	バイオモニ タリング調 査	_	1,3-D散布者	尿中AAP, NAG, RBP, ALB, 血中 β2M-S, Creat- S, ALAT, ASAT, GGT, ALP, TBIL, β OHC/COR	尿中及び血中の濃度 分析		——————————————————————————————————————	35 (13/22)	13	_	— (ALIM X J X X )		_	_	_	・調査対象数が少なく (n=13)。 比較対照群 (n=22)。 ・1,3-D散布作業者の尿中及び血中マーカーにBOHC/CORを除いて異常は認められなかったとする報告で健康関連の事象(疾病等)の調査がない	3.腎機能
1192	Gunier, R. B., Bradman, A., Castorina, R., Holland, N. T., Avery, D., Harley, K. G., & Eskenazi, B.	米国, カリ フォルニア	コホート研 究	1999年10月~ 2000年10月	生後から7歳までの子 供	IQ (言語理解, 知覚推論,作業 記憶,処理速	によって訓練・監督さ	州の農薬使 用報告デー	カリフォルニア州の 農薬使用報告 データ 散布場所からの居 住地の距離・風向	出生前 285, 出生 後 255	出生前 285, 出生後 255	IQ (言語理解,知覚推論,作業記憶,処理速度),多動性障害,注意欠如	-	理解:-2.5, 作 業記憶:-1.7,	IQ:-6.5, 1.0, 言語 理解:-6.1, 1.2, 作 業記憶:-5.4, 2.1, 処理速度:-4.2, 3.3	理解:0.18, 作	年齢, 母親の教 育等その他多数	・臭化メチル、クロルピクリン、メタムナトリウム、 1,3-ジクロロプロペンの農業使用に対する住 居近接度と神経発達との関連性を検討	5.神経発 達症
1196	Kalkbrenner, A. E., Daniels, J. L., Chen, J. C., Poole, C., Emch, M., & Morrissey, J.	米国	症例対照 研究	年 ウェストバージニア	ノースカロライナ 州:1994, 1996年 生まれの子供 ウエストバージニア 州:200, 2002年生 まれの子供		ノースカロライナ州 (NC) とウェストバージ ニア州 (WV) の健康 維持団体等が管理す るデータ	害物質評価 (NATA)	国家大気有害物質評価(NATA)プログラムによるモデル濃度を用いた居住地の推定曝露量	-	395	自閉症スペクト ラム障害と知的 障害	郊外:881 (89/792),都 会:850 (108/742), NC:1931 (201/1730), WV:1246 (173/1073), 合計:3177 (374/2803)	会:0.9, NC :1.2, WV:1.7, 合計:1.9	郊外:0.5-6.4, 都 会:0.2-3.5, NC :0.3-4.2, WV:0.5-5.2, 合 計:0.8-4.8	-	母親の年齢、喫煙,婚姻。母親の教育,人種,都市性	・35種類の大気汚染物質と自閉症スペクト ラムの発症についての検討 ・1,3-Dに関して影響が認められなかった	5.神経発 達症
1197	Kalkbrenner, A. E., Windham, G. C., Zheng, C., McConnell, R., Lee, N. L., Schauer, J. J., & Volk, H. E.	米国	<u>□</u> ホート研 究	2012年〜少なく とも5年間	通常2人以上の兄弟 姉妹がASDの診断を 受けている家族の全 米からのボランティア 研究 1994年から2007年 の間に少なくとも1回 の出産があった家族	自閉症スペクトラム 障害	ベンシルバニア大学医学部の収集したデータ	国家大気有 害物質評価 (NATA) プログラム データ	質評価 (NATA)プログ ラムによるモデル濃	1,466家族から 3,342人の参加者 a)自閉症(1,540例、477例)、b) 自閉症関連特性の連続尺度(SRS、1,272例と対照 群)、c)自閉症重 症度の尺度、校正済 み重症度得点 (1,380例)	1,380	b)自閉症関	a) 1540/477, b) 1,272, c) 1,380	a) 1.00, b) 0.20, c) 0.02	a) 0.95, 1.05, b) -0.44, 0.84 c) - 0.03, 0.07	-	性, 人種, 兄弟 の数, 誕生年、 その他	・155種類の大気有害物質年間平均濃度 と自閉症スペクトラム障害 (ASD) との関連 性を検討 ・1,3-Dに関して影響が認められなかった	5.神経発 達症
	Brouwer, M., Huss, A., van der Mark, M., Nijssen, P.C., Mulleners, W.M., Sas A.M., van Laar, T., de Snoo, G.R., Kromhout, H., Vermeulen, R.C.			2006年1月~ 2011年12月	オランダ全域をカバー する5病院の通院患 者	パーキンソン病	神経医の診断		農業国政調査及 び専門家が作成し た過去の作物別 農薬使用推定値 及び散布場所から の居住地の距離	959 (352/607)	352		0-100M:61 (29/32) >50-100:60 (28/32) 0-50M:27 (11/16)	0-50M:1.54 >50-100:1.97	3.70 >50-	0-100M:0.02 >50- 100:0.03 0-50M:0.09	年齢,病歴、食事、喫煙や飲酒、その他	・慣用使用している農薬の総合的な暴露量をシュミレーションモデルで推測して、パーキンソン病との相関関係を検討。 ・1、3-Dのばく露影響としては適切ではない	
1191	Gharibi, H., Entwistle, M. R., Schweizer, D., Tavallali, P., & Cisneros, R.		case- crossove r研究		2~65歳以上(受 診時年齢)	喘息	救急受診記録	-	EPAの屋外大気 暴露データベース	35876	3878	喘息	3878	1.091	1.009, 1.175		性別,人種·民 族,年齢	・1,3-D施用時の気中濃度と喘息救急部 受診との関連性を検討	7.呼吸器
1193	Gunier, R. B., Raanan, R., Castorina, R., Holland, N. T., Harley, K. G., Balmes, J. R., Fouquette, L., Eskenazi, B., & Bradman, A.		究	1999年10月~2000年10月	7歳子供		訓練を受けた職員による母親からの聞き取り		散布場所からの居住地の距離・風向					生前1.1, 出生 後1.2, 喘息薬 の使用: 出生前 1.3, 出生後1.3 FEV1:出生前- 0.02, 出生後 0.00, FVC: 出 生前-0.03, 出 生後0.04, FEF25-75:出 生前-0.08, 出 生後-0.01	0.8-1.4, 出生後 0.6-2.4, 喘息薬の 使用: 出生前0.9- 2.0, 出生後0.4- 3.6 FEV1:出生前-0.17 0.02, 出生後- 0.15, 0.14、FVC: 出生前-0.09, 0.03	生前0.58, 出生 後0.64, 喘息薬 の使用: 出生前 0.17, 出生後 0.6, FEV1:出 生前0.31, 出生 後0.95, FVC: 出生前0.34, 出 生後0.63, FEF25-75:出 生前0.11, 出生	居住地の距離 スパイロメトリー分析:検査を行っ た技術者、子ども の年齢、性別、 身長等その他多 数	・臭化メチル、クロルピクリン、メタムナトリウム、 1,3-ジクロロプロペンの使用と呼吸器症状及 び喘息薬の使用との関連性を検討	7.呼吸器
1186	Personal air sampling and biological monitoring of occupational exposure to the soil fumigant cis-1,3-dichloropropene.	オランダ		1993年8月~ 11月			燻蒸期間終了後 3 時間以内に尿を採取		トラクターのキャビン 内でリアルタイムの 空気モニタリング	55	14	燻蒸3時間後 の尿中濃度	14					・実圃場での気中濃度の測定値から、作業者のばく露量を推定 ・調査対象数が少なく(n=14)、比較対照群が設定されていない ・健康関連の事象(疾病等)の調査がない ・健康関連の事象(疾病等)の調査がない	8.その他

					石	开究デザイン													
文献番号	著者名	国名	試験設計	調査時期	対象者·年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	暴露指標の 定義	暴露の 確認方法	試験全体のN数(症 例/対照)	アウトカムのN 数(症例)	分析カテゴリー	暴露に係るN数 (症例/対照)	相対リスク/オッズ 比	95%信頼区間	P値	交絡因子の考慮	備考(他の文献との関連等)	事象 (疾病等)
	Bostwick, D. G., Burke, H. B., Djakiew, D., Euling, S., Ho, S. M., Landolph, J., Morrison, H., Sonawane, B., Shifflett, T., Waters, D.J., & Timms, B.	米国	総説	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	・人の前立腺がんにの推定危険因子につい ての総説	8.その他
1189	Correlating agricultural use with ambient concentration of the fumigant chloropicrin during the period of 2011 – 2014.			2011年~	_			及び散布記 録	農薬規制局大気 モニタリングネット ワークの3ケ所の 24時間大気採取 サンプル及び農薬 使用報告書データ ベースを用いた農 薬使用報告		+			_				・大気モニタリングデータと散布記録の2つのデータについて線形回帰を用いて、クロロピクリン使用の場所、時期、量と周囲のクロロピクリン濃度との関連性を検討・当該有効成分及び代謝物には関連性はない	
	Bernard Goldstein, James Gibson, Rogene Henderson, John Hobbie, Philip Landrigan, Donald Mattison, Frederica Perera, Emil Pfitzer, Ellen Silbergeld, and GeraldWogan.	米国	シンポジウ ム議事録・ 総説	_	_		_		_	_	_			_		_	_	・米国科学アカデミー/全米研究会議の生殖・発生毒性小委員会による生物学的マーカーの開発および使用への応用の可能性に関するシンポジウム議事録	8.その他
	Higgins, J. P., & Green, S. (Eds.).	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•書籍	8.その他
1198	Li, L., Johnson, B., & Segawa, R.	米国, カリ フォルニア		2000年, 2001年					カリフォルニア大気 資源局、MeBrの 環境大気モニタリ ング及びモニタリン グ期間中の周辺 町村のMeBr使用 量		I						_	・臭化メチルに関するばく露評価のため1,3-Dに該当する内容なし ・当該有効成分及び代謝物には関連性はない	
	Markovitz, A., & Crosby, W. H.	米国	タリング調 査		症例3 52歳	症例1 びまん性組織球性リンパ腫,症例2 組織球性リンパ腫,症例3急性骨髄単球性白血病	_	_	_		I								8.その他
1200	_			_	_		_		_	_		_	_	_		_		・書籍 ・入手できず	8.その他
1204	Van Welie RTH, Van Duyn P, Brouwer DH, et al.	オランダ	バイオモニ タリング調 査		1,3-D散布者 (平均 45歳)	尿中Z-and E- DCP <mark>代謝物</mark> , クレ アチニン	GC-MSによる尿中濃 度分析		散布者ごと空気サ ンプリング	13	13	_	_	_		_		・調査対象数が少なく(n=12、男性)、比較対照群が設定されていない・1,3-D散布作業者の尿中から代謝物の3CNACが検出されたとする報告で健康関連の事象(疾病等)の調査がない	8.その他